

### 理数科課題研究発表大会

福岡県高等学校理数科課題研究発表大会が筑紫丘高校で行われ、県内の理数科代表6班が課題研究の成果を発表しました。本校からは、生物班の「ミルワームの巨大化と酸素濃度～古代生物巨大化との関連性～」が代表で発表しました。発表大会には、理数科の1・2年生が参観し、研究の進め方や発表の仕方、質疑応答の仕方など、熱心に学んでいました。今後の課題研究が楽しみです。

他校の活動についての発表を聴くことができ、様々な考え方に触れることができました。自分では見えないものの見方や新たな視点を発見する機会となり、これからの課題研究やそれ以外の場面に活かそうと思いました。課題研究は答えがなく、新たな疑問が次々に出てきて難しいと思うけど、考えること自体に意味があり、面白いのではないかと考えることができました。  
2年 大野欄々(直方第二中学校)



どの高校の発表もテーマをとことん掘り下げて調べ、スライドにまとめていてすごいと思った。ただ実験をして、考察を考えるだけでなく、実験→考察→疑問→実験を繰り返していた。これが課題研究には必要で重要なことだと分かった。また、本実験を行う前の予備実験や参考文献からの事実も研究を進めるためのポイントだと感じた。これから本格的に始まる課題研究の参考になるところが多くあったので活かしていきたい

2年 星山 愛幸(飛幡中学校)



どの高校も発表の内容がとても専門的で分からないことがたくさんありましたが、スライドの作り方や発表の進め方など、今後の学習で活かしていけそうなことがたくさんあって、勉強になりました。来年、私が課題研究をするときには、単純な研究内容だけでなく、テーマの取り方、発表のしかたなど今日学んだことを思い出して良い研究になるようにしていきたいと思いました。

1年 古本 奈々(思永中学校)



### 教科科目横断型授業

<3年生>

5月15日

「2008年ノーベル化学賞を受賞した GFP の功績」  
～光らせることで何が可能になったのかを理解する～  
生物 田所先生 英語 松尾先生

<3年生>

6月9日

「How Can You Achieve Your Future Goals?」  
英語 松尾先生 保健体育 杉山 先生

<2年生>

6月9日

「水」  
地歴公民科 川津先生 化学 大野先生

<3年生>

6月19日

「科学と対数」  
～対数処理されたグラフの価値を実感し、生存曲線の理解を深める～  
生物 田所先生 数学 横山先生 英語 レスリー先生



◇硬水と軟水の違いが Ca,Mg の含有量の違いであるということを知った。地理的な視点と化学的な視点で同じものを見てみると、新たに知ることがたくさんあって、面白かった。身近な水も、地球上と宇宙空間では使い道がさまざま、エンジンなどにも使えるということを知って、これから私が想像できないような使われ方で水が使われ、想像できない未来がくるんだと感じた。

2年 石本 桜子(中原中学校)

◇水に硬水、軟水という種類があるのも初めて知ったが、水の種類で出しの出方が違ったり水が燃料にも使えたりするのを知り、驚きました。地理で最近習ったことを使って、軟水、硬水の分布の違いがあることを見つけることができました。地理と化学の2分野の良い所を組み合わせた感じで、とても興味が湧きました。いつもと違った観点からの授業は面白く、楽しかったです。

2年 竹内 心乃(槻田中学校)

◇自分がいつも勉強している英語のレベルより高かった。内容が難しかったけれど生物の内容なので頑張って取り組むことができた。自分の興味ある分野についての英文をすらすら読めたら楽しいと思うので、引き続き英語の勉強を頑張りたい。

3年 古海 真尋(篠崎中学校)

◇英語が生物の世界でも非常に大切なことがよく分かる授業だった。どちらも好きな教科なので、日頃から関連付けて勉強しようと思った。

3年 友岡 ひかり(高見中学校)

◇生物、英語の勉強をもっと頑張ろうと思った。また、教科書が教えてくれない内容を知ることができ、とても刺激的だった。

3年 松永 文香(黒崎中学校)